

NEWS LETTER Vol.06(Aクラス)

2022.10.27

大阪大学医学部附属病院 子どものこころの診療センターにて 見学実習を行いました。

2022年9月2日(金) 13:00 -16:00 公認心理師、臨床心理士である山本知加先生より、**子どものこころの診療センター**での公認心理師の仕事についてご講義頂きました。



このセンターでは、小児科、神経科・精神科、産科などの医師と心理師をはじめとするコメディカルが協働して、**発達障害の診療**及び**睡眠外来**を行っています。心理師は、主に**心理発達検査とそのフィードバックを担当**し、保護者に対して検査結果を踏まえた支援方針についてもお話します。

他者とコミュニケーションを取ることが苦手な子ども達に対しては、**ソーシャルスキルトレーニング(SST)**を行っています。子ども達に楽しく学んでもらえるようクイズ形式などにして講義を行っておられるようでした。

また、阪大病院で働く心理師の一週間のスケジュールも紹介していただき、**心理面接、心理検査**だけでなく、**研究や教育、そしてカンファレンス**などによる**多職種との連携**も心理師の重要な仕事の1つであることが分かりました。

山本先生、森先生のお話

大学病院における心理師の仕事



質疑応答の時間では、センターの専任心理師及びPSWの森愛実先生にも加わっていただき、学生たちからの質問に山本先生や森先生が親身になってお答えくださいました。

保護者に対して「お部屋の環境づくりのコツ」などの説明を行う際には、イラストを用いたり表現方法を工夫するなど、**保護者がより理解しやすいよう配慮されている**ことが分かりました。

また、大学病院で働く心理師ならではの仕事内容についても伺いました。**研究も臨床も行うため、新しいことを勉強でき、医療現場の最先端で働くことができる**ことが魅力の1つであると感じました。

検査道具「ADOS」



自閉症診断のために使う検査道具(ADOS)を実際に見せていただきました。おもちゃや本などを用いて子どもに対して色々な働きかけをしながら、それに対する**子どもの反応を見たり、子どもからの働きかけを見る**検査です。子どもに遊ばせその遊びの中での様子を観察するため、被験者の反応自由度が高いと思われ、**検査者の技量が求められる検査**であると感じました。

編集後記

お忙しい中、貴重なお話をお聞かせ下さいました、大阪大学医学部附属病院子どものこころの診療センターの山本知加先生、森愛実先生に心より感謝申し上げます。

NEWS LETTER 作成:松下

